

◎第1回審議会概要について

1 意見交換概要

（1）現状について

[提供側（献立作成・調理）の観点から]

- ・食材料の価格高騰により献立作成が困難になっている。
- ・「生きた教材」としての献立を立てることが難しい状況となっている。

例 ・メニュー数の減少、使用できる食材数の減、献立のパターン化
・使用できる食材数の減による味付けへの苦労

[喫食側の観点から]

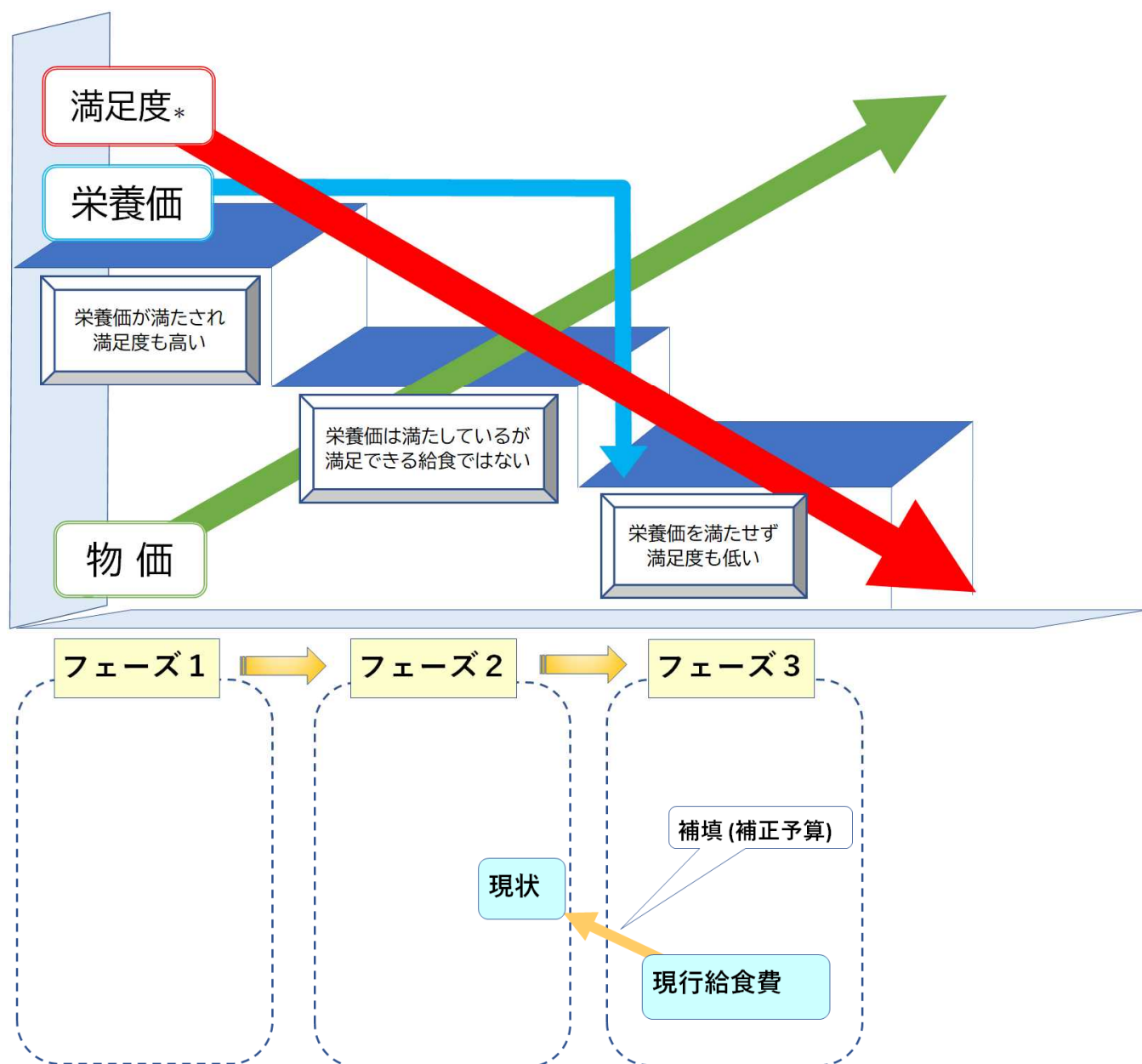
- ・子どもたちの成長、適切な栄養摂取の観点から給食の果たす役割は大きい。
- ・献立作成の工夫には感謝しているが、品数の減少などを感じることもある。
- ・工夫による提供内容の変化により、残食も増えつつある。

（2）今後の給食費について

- ・現行の給食費による献立作成は非常に厳しい状況であり、改定はやむを得ない。
- ・保護者に対して丁寧に説明し理解していただくことが重要である。
- ・値上げは、生活が苦しい家庭にとってはインパクトがある。何らかの暫定措置などがあれば保護者の理解を得やすいのではないか。
- ・頻繁に給食費を改定されるのは好ましくないと思う反面、長期的な物価上昇を見据えると改定当初の給食費が高額になるという課題もある。
- ・近年の物価高騰は戦後直後を除けばあまり例がないのではないか。

⇒今後物価上昇を見据えたうえで、給食の質をどの程度にすべきかといったことも考え、適正な給食費の額についてシミュレーションし、提示してほしい。

(3) 第1回審議会概要（現状のイメージ）



*満足度…横須賀の子どもたちがおいしく食べることができる献立